

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 163 2020.8.5

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

ほたる湯館G・ゴルフ場

養殖ホタルの幼虫を放流

8月5日(水)午後6時から、波佐ホタル祭り実行委員会(山本宏明会長)20名のメンバーは、40日間飼育した約4,000匹のホタルの幼虫を菅沢町内の用水路に放流しました。

今年は、新型コロナウイルス感染予防のため、毎年6月下旬に開催していたホタル祭りが中止となり、実行委員会では、6月23日、ときわ会館でホタル学習会を開催して、ホタルの飼育に取り組みました。学習会の後、午後8時から全員でホタルを捕獲(雌12匹、雄30匹)し、12個のペットボトルで飼育しました。1週間内外で産卵が終わり、その後、40日間、毎日、水の管理をホタル同好会のメンバーの皆さんが交代で行われ、放流に至ったものです。

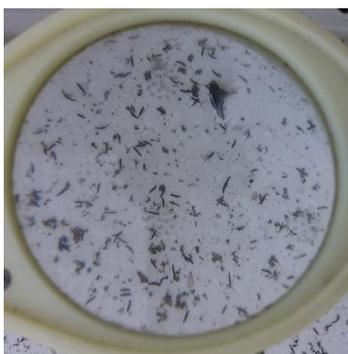
放流に先立ち、山本会長からねぎらいの挨拶、ホタル同好会の上山信人氏から養殖期間中の経過報告が行われた。中学生2名も放流に参加して体験しました。



ホタル学習会の模様(6月23日)



ホタルを捕獲後、ペットボトル容器で産卵床づくり



ホタルの幼虫



放流前に幼虫を確認する参加者



用水路に放流(8月5日)



波佐川のアユ釣りの模様